

「第4次松戸市協働推進計画(案)」
パブリックコメント(意見募集)手続きの実施結果を公表します

「第4次松戸市協働推進計画」の策定にあたり、市民の皆様からご意見の募集をしたところ3名の方からご意見をお寄せいただきました。この度、お寄せいただいたご意見と、そのご意見に対する本市の考え方について、次のとおり取りまとめましたので、公表いたします。

パブリックコメント手続き実施結果の概要

- 1 意見募集期間 令和4年1月7日(金)～令和4年2月6日(日)
- 2 意見提出者 3名
- 3 意見総件数 43件
- 4 意見取り下げ 0件
- 5 回答数 43件
- 6 修正数 5件
- 7 意見内容及び回答

No.	頁	意見の趣旨	市の考え方	修正の有無
1	全体意見	計画案についての意見ではないが、松戸市の協働のまちづくりを進めるならば、女性の参画がかかせないと思う。計画案の後ろの方にある委員の名簿をみると、男女の差があまりに大きい。松戸市の他の審議会や委員会も同じようなものではあるが、本当に市民との協働のまちづくりをめざすなら、まず委員を男女同数にする努力をしてほしい。さらに言えば、町会・自治会の長も女性が少ないので、地域の意見交換会も男性ばかりになっているので、各町会・自治会から男女の代表の参加を求めてほしいと思う。【女性の数】松戸市協働のまちづくり協議会委員9人中3人／協働のまちづくり推進会議委員16人中3人／第1次庁内ワーキン	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無

		グチーム16人中5人／第2次庁内ワーキングチーム17人中4人／第3次庁内ワーキングチーム17人中4人		
2	2	計画の位置づけについて。第6次男女参画共同プランとの連携体制については特に記載がないが、どう整合性を図っているか。また、これまでの男女共同参画分野における市民協働の考え方と成果についてはどうとらえているか。	松戸市男女共同参画プラン第5次実施計画において、めざすまちとして「女性も男性も地域でつながりあうまち」と位置づけております。地域活動に参加するためには、ワーク・ライフ・バランスを見直す必要があり、すなわち男女共同参画推進に関わることと考えています。 また、男女共同参画分野としては、主に男女共同参画を推進する目的で活動する団体等との連携による講座やイベントの開催、男女共同参画推進を目的とした事業への補助金の交付の他、令和3年度には協働事業として父親の育児参画を目的とした事業を行うなど、継続的かつ意欲的に協働を進めています。成果としては、市民との協働で事業を行うことで、男女共同参画を当事者として推進していく企画側の意識の深まりと関わりの広がりが得られると考えています。	無
3	8.9	「目標値の達成状況」について達成状況が極めて低い実態を、まず反省するべきである。全4項目でH27年度と比較してR1年度で実績値が下がっているため、これまでの全施策を根本から一斉に見直す必要があるのではないか。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。 松戸市協働のまちづくり協議会において第3次協働推進計画の進捗状況の報告を行い、いただいたご意見を踏まえて今回の計画案の策定をしております。	無

4	8・9	<p>今計画の作成段階で低下理由の十分な検証が行われていない。しっかりと分析をしないと前回までの実績値を上回る成果に辿り着ける実効的な計画にはなり得ないのではないか。少なくとも、今回低下した原因分析を行い、同時に対策案を考え、記載することが必須だとは考えないのか。</p>	<p>ご意見を基に、目標が達成できなかった原因分析の総括について、松戸市協働のまちづくり協議会で行われた議論を踏まえて、P12の第3次協働推進計画の成果と課題に、追加して修正いたしました。</p> <p>また、対応策につきましてはP15からの事業実施計画に記載しております。</p>	有
5	10	<p>目標値の設定について。</p> <p>以下の4指標については、R1年度の実績値よりも目標値が低く設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつど市民活動サポートセンターへの市民活動団体情報届出数 ・市民活動団体が、自らの活動を、活動方針どおりにできた割合 ・市民が暮らしやすい社会を実現するために、市民活動が有効だと思っている職員の割合 ・協働のまちづくりを積極的に推進するべきだと思っている職員の割合 <p>これは現状以上に協働を推進していこうとする姿勢とは到底言えない。目標なのだから少なくとも現状よりも高い数値であるべきであるが、こんな設定にして、市は一体何を考えているのか。</p>	<p>P10は第3次松戸市協働推進計画(計画期間:平成29年度～令和3年度)の達成状況について記載しており、ご意見をいただいた4指標につきましては、目標を達成した評価指標となります。</p> <p>達成状況を表した表であることがわかるように、P9～11の表の各年度の欄の上に、「成果(目標達成度)」の記載を追加して修正いたしました。</p>	有

6	11	<p>以下の2指標はH27年度実績では100%に達している。・協働による事業実施者の満足度・市事業担当者の満足度過去(H27年度)に既に100%を達成できている項目に対して今回目標を再設定する事自体にも違和感があるが、R1年度で実績値が低下してしまっている事の原因分析はしていないのか。それが分かっていたら改善が容易になるはず。原因分析と対策案の記載が必要だとは考えないのか。</p>	<p>P11は第3次松戸市協働推進計画(計画期間:平成29年度～令和3年度)の達成状況について記載しております。</p> <p>平成27年度時点で100%達成できている2指標について、再設定を行った理由としたしましては、100%の状況を令和元年度まで維持し続けることを目標としておりました。</p> <p>ご意見を基に、目標が達成できなかった原因分析の総括について、松戸市協働のまちづくり協議会で行われた議論を踏まえて、P12の第3次協働推進計画の成果と課題に、追加して修正いたしました。</p> <p>また、対応策につきましてはP15からの事業実施計画に記載しております。</p>	有
7	13	<p>「市民が暮らしやすい社会を実現するために、市民活動が有効だと思っている職員の割合」では45.2%もの職員が、市民活動を頼りにしているのであれば、市民活動サポートセンターは、市街地(松戸駅周辺)にあったほうがいいのか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

8	13	<p>「より良いまちづくりをするために、市民との協働が有効だと思っている職員の割合」では、24.2%となっている。都心に仕事に通う知識人等もたくさん住む街で、そうした層は定年引退後はもちろん、50代から、定年後のキャリアを見据えて学ぶ人が増えている。様々なキャリアや経験を持つ多様な市民を、地域での重要な力と捉えられていないのでは。そうした方たちがさまざまに学ぶ機会を作り、活躍する場を、市民活動だけでなく、行政も一緒になって用意していく必要がある。里山ボランティア養成講座のような、受講→活躍の場、横のつながりができるような講座が色々あるとよい。社会教育と市民活動は両輪で動かさないと市民自治はできないと思う。コミュニティナース講座とか、防災ファシリテーター講座、学習支援ボランティア講座、交通安全ボランティア講座とか。防災キャンプ実践講座など、現役のパパさん世代が参加できるような講座から、地域の防災チームへの活躍の場をつなげるなど。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
9	15	<p>2-1「多様な主体」と3-3「様々な立場の人たちが」は同じものを意味するのか。似たような言葉が複数用いられており、微妙な認識の差異や意味するところが正確に分からない。</p>	<p>「主体」という用語についてはP54の用語集で解説しております。ご意見を基に、P54の用語集に「人」の説明を追加して修正いたしました。</p> <p>また、当計画を読まれる方にとって、より分かりやすい内容とするため、P15の計画体系に「主体」という用語の注釈を追加して修正いたしました。</p>	有

10	16	<p>「基本目標 1 自分の望む形でまちづくりに参画できる」について</p> <p>p9 の調査結果で、「まちづくりへの関心がある」が 58.4%か 29.4%に下がっており、「協働のまちづくりが地域の課題解決につながると思っている市民の割合」が 87.7%から 47.4%まで下がっている。これは、そもそも市民活動に触れる機会がない、興味がないことを示しているのではないのでしょうか。固定の場所で相談を受けるだけではなく、キャラバンなどで周知が必要ではないのでしょうか。また、シティプロモーションの一環で、WEB や紙媒体が作成されていると思いますが、市民活動の記事を載せるなど、目に触れる機会を増やさないことには、この数値は改善されないとします。市内の様々なイベント(モリヒロフェスタとか、まつどまつり、桜まつりなど)で、ブースを作って出展するなどもいいと思います。</p>	<p>広報まつどでは年に4回程度(各4ページ)、市民活動特集を掲載し、市内で行われている活動や団体等を紹介しております。イベントやWEB 活用等、いただいたご意見を参考に関係部署と連携し、引き続き周知を図ってまいります。</p> <p>松戸市協働のまちづくり協議会からも「市民に協働のまちづくりを認知してもらう施策を行ってください」との提言をいただいていることから、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
11	16	<p>目指す姿 1-1「まちづくりに積極的に参加できる」について、まちづくりにおいて市民が意見を聴取してもらえる場が少ないと感じる。市長メール以外に現市長と対話の場がないことや、パブコメで意見を表明しても取り入れられることがほとんどないため、市民の意見が積極的に市政に反映されているとは言い難いと思う。市民意見が活かされる場を設けて、市民の参加意欲を高めて欲しい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

12	18・19	<p>個別施策についてそれぞれが広報していると思うが、個人が何か経験を活かしたい、地域に貢献したい、と思ったときにどんなものがあるか、どうすればいいのか、もっと気軽に情報に触れられるようにしてほしい。たくさんの情報からたどり着くのは困難。相談できるような場所が、市民センターなどにあるといい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
13	21	<p>現状と課題として、市民が市民活動に参加したことがない理由として「きっかけや機会がない」として、同時に市民活動団体の悩みは「発信しても市民からの反応に乏しいこと」「情報発信の活用に関わることのできる人の数が限られていること」が課題となっている。つまり、現状のままでは市民活動の参加者は増えないので、市民活動団体登録のハードルを下げたり、市民センターに情報を掲示するための条件を低くする(たとえば、その地域での活動であればOKなど)、市民センターの情報コーナーを拡充する、など、何かしら情報発信の仕組みを整える必要があるのでは。ユーカリひろばに投稿される情報をWEB検索できるようにするなど(とくに高齢者の団体などはWEBでの情報発信が難しいと思うので)。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

14	21	「新ホームページの公開」市民活動と生涯学習の情報を一元化するだけでなく、市民活動団体と、社会教育団体の届出も、同時にできたり、簡易化してほしい。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。 各種手続きの簡素化につきましては、随時見直しを図ってまいります。	無
15	23	市民活動団体は増えているが、NPOが減っている。高齢化が進んで、店をたたむNPOが多いのではないかと。個人の活躍の講座だけでなく、NPO法人設立講座などがあってもいいのでは。	まつど市民活動サポートセンターでは市民活動の担い手となる人材の育成を行っており、引き続き市民活動団体に所属している方を対象とした、スキル向上を図る講座を実施してまいりますので、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無
16	24・25	個別施策 まつど市民活動サポートセンターの設置 市民活動サポートセンターが、松戸市の矢切にあるのは不便である。新松戸に市民活動支援コーナーの設置されているのは評価するが、もっとサポートセンターを松戸駅の近くに設置してほしい。また、他の地域にも市民活動支援コーナーを設置することが必要だと思う。第4次計画でもう一つ増やしてはどうかとおもう。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無
17	24～26	「個別施策」について。多様な主体である外国人住民に対する事業(文化観光国際課)や、動物(ペット)に対する事業(環境保全課)への展開が不足していると思うが、検討はされたのか。	外国人住民に対する事業や動物(ペット)に対する事業につきましては、それぞれの分野で活動する市民活動団体への支援や連携を行っております。この項目の個別施策には予算化事業を記載しているため、追記は行いませんが、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無

18	25	プロボノ松戸はもっと PR したほうがいいのでは。松戸には、スキルのある人材がたくさんいると思います。	広報まつどや松戸市ホームページ等に加え、高齢者関連イベント等でも情報発信を行うなど、PR の拡充を図ってまいります。	無
19	29	協働事業提案制度の実施あい変わらず、市民自治課の予算の範囲を出ない。関係各課の予算を使った協働事業に踏み込んでほしい。	協働事業提案制度以外にも、関係各課が個別で協働する事業については、令和 10 年度の目標値を 260 件と設定しているため、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無
20	31	パートナー講座の実施 こうごのメニューがあるのは良いが、市民の要望に答えた講座も引き受けてほしい。メニューにないものはやらないということはやめてほしい。	パートナー講座開催時に受講者の皆様から講座のご感想やご希望をアンケート等でお伺いしております。そのご意見を基に地域の状況やニーズを把握し、今後も市民の皆様のご要望に沿った講座の拡充に努めてまいります。	無
21	33	「暮らしの中で課題を考え、共有することができる」 ・ちばレポ(ちば市民協働レポート)のように、市民が気づいた街の困りごとを気軽に報告したり、解決できる市民が自発的にサポーターとなって解決するような仕組みが欲しい。 市民活動団体に入らなくても、今日から始められるソーシャルグッドの仕掛けをつくってほしい。まつど健康マイレージみたいにポイントとか貯められたら楽しいですね。 https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/chibarepo.html	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無

22	34	<p>地区意見交換会について。例年の出席者がほぼ固定化されており、傍聴者も少なく、形式的な場になってしまっていないか。又、様々な理由で町会や自治会に参加していない住民が増えている時代背景もあり、その人たちの声を吸い上げる受け皿にはならないため、他の施策の展開も必要なのではないか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
23	35 ～ 36	<p>目指す姿 3-3「様々な立場の人たちが、交流やつながりをもつことができる」について。住民同士の交流の中で発生するトラブルやハラスメントについての視点が欠如しているのではないか。又、それらが調査結果にも反映されていると考える。本市の対応策があるならば記載した方がよいのではないか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
24	37	<p>町会・自治会への支援について 町会自治会への支援について、あまりこれまでと変化がなく、主に補助金を出すことにとどまっています。市内にもっとも地域に根付いた組織であり、運営者の高齢化、担い手不足など、課題は明確なのだから、もっと課題に向き合ってほしい。どうやって入ったらいいかもわからない、だれからも誘われなければ、若い人はもちろん、転入者も入らない人が増えるのは当然かと思えます。まずは、町会自治会の役員などが出席している会議を聴取して、同じような会議がないか、本当に参加が必要なのかなど、スクラップ&ビルドが必要。部署をまたがって共通の問</p>	<p>市では転入者向けに加入促進チラシを配布するとともに、協定を締結している(一社)千葉県宅地建物取引業協会松戸支部を通じて、協会加入店舗でも加入促進の取り組みに協力をいただいております。 今後の支援施策の検討に向けて貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>	無

		<p>題を協働して解決するには、場合によっては、部署の統廃合や、横ぐしをさした横断的な部署が必要ではないか。町会役員等の負担を軽減するだけでなく、行政の無駄も排除することにつながるはずでは。</p>		
25	37	<p>町会自治会に、高校生の役員が入ったニュースは衝撃的でした。若い人が入れば、地域の高齢者は元気になる。中高大学生が、授業の一環や、ボランティア部などを通して町会自治会に入るような仕組みを整えられないでしょうか。大学、学校などとの協働が必要ですが、ものすごい効果があると思います。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
26	37	<p>個別施策3「町会・自治会への加入促進」について加入促進についてのみが記載されているが、市が行う従来通りの情報提供を中心とした施策ではこれ以上加入率が上がる事は期待できないと考える。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。令和4年度以降市民活動団体と協働して、町会自治会の活動内容をPRする事業を実施する予定です。</p>	無
27	37	<p>個別施策3「町会・自治会への加入促進」について 年々町会加入率が下がっており、現在6割程度の中、4割の市民が町会に加入していない現状にもかかわらず、町会に加入していない市民に対する働きかけが町会への加入促進だけとなっている旧態依然とした取り組みであることは、もはや時代遅れだと感じる。行政や町会・自治会運営側中心の考えで行うのではなく、これからは加入していない市民のご意見を広く聞くことができるシ</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。 町会・自治会は地域で最大のコミュニティ主体ですので、認知度向上等による加入促進の取り組みを実施・継続するとともに、各課で実施する個別施策を通して様々な人たちの意見反映につなげていければと考えております。</p>	無

		<p>STEMの創設など、従来以上により間口を広げた取り組みが必要ではないか。同時に、市民全体の協働を推し進めることが本計画の目的であるならば、加入していない市民に対して加入促進以外の働きかけを並行して展開すべきではないか。</p>		
28	38	<p>子どもの居場所について、各小学校区くらいにこども館・中高生の居場所がほしい。正直、子どもたちが過ごす場所がこんなにはないとは思わなかった。公園設備も古い。図書館には勉強するところもほぼないし、本屋もどんどんつぶれています。駄菓子屋もないです。新設が難しいのなら、「放課後子供教室」や学校を利用したカフェやサロン、学校自体を居場所にしてほしい。廃園になっている幼稚園なども、市で借り上げて居場所にしてほしい。</p>	<p>子どもの居場所づくりにつきましては、第2期松戸市子ども総合計画に基づき、拡充に努めていきたいと存じます。貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
29	38	<p>高齢者の居場所について、坂も結構多いので、屋外の空き地や、広い歩道を利用して、ベンチや東屋、小さなサロンをたくさん作ってほしい。道端で座り込んでいるお年寄りや、自転車につかまって歩いて移動しているお年寄りなど、たくさんみかけます。作るのが難しくても、「私有地などに置いてくれる人募集！」とかでも結構増えると思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

30	38	スポーツを軸にした交流の創出について、ゆるスポーツ、パラスポーツなどの体験ができると、障がい者理解や、ユニバーサルな街づくりにつながると思う。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無
31	39	地域の情報を主に何によって入手しているかについては「広報まつど」が30.9%とあるが、広報まつどは、優良な情報がたくさん掲載されていて、大変重要。新聞を取らない人が多く、またマンションに住む人は回覧板も回ってこないところが多いと思うので、この数値になっているのでは。新聞に挟むのをやめて全戸配布でもいいくらいです。(やっている自治体もあります)それか、駅や市民センターだけでなく、市内のスーパーに置くのがいいと思う。	広報まつどは新聞折り込みに加え新聞未購読の希望者へ個別宅配する他、公共施設・市内各駅・大型スーパー4店舗に配架しております。また、市内コンビニエンスストアでの配架も検討中であり、今回いただいた貴重なご意見を参考に、広報まつどが広く市民の皆様に行き渡るよう今後も検討してまいります。	無
32	39	広報まつどは個人での取り寄せには応じてくれるが、マンションの集合住宅での取り寄せには応じてくれない。そういう情報を自ら取りにいかない人にこそ、届けたい情報だと思うので、自治会や、マンションの管理組合、お店などが取り寄せられる仕組みを作ってほしい。余るのがいやなら、住民票のある世帯に全戸配布じゃないでしょうか。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無

33	42	岡山市のESD・市民協働推進センターや、横浜市市民協働推進センターのような、行政職員や企業・NPOなど、様々な主体が相談できる常設の協働の窓口が、市内に必要なのでは。	まつど市民活動サポートセンターでは市民活動を行う方や団体の相互連携又は交流の推進に関する事業を行うとともに、市民活動に係る各種相談を受け付けておりますので、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無
34	42	市民活動と生涯学習だけでなく、社会教育(ボランティア体験・青少年教育なども含め)、学校教育と、もっと連携してほしい。同じような事業があるはず。まずは行政の縦割りの状況から変えてほしい。地区内で一人の人がいくつもの組織で役を求められている状況をなんとかしないと、いつまでたっても新しい担い手は出てこないと思います。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無
35	42	教育委員会の地域学校協働活動と協働し、市民活動と社会教育、地域と学校の連携をしてほしい。それが町会自治会の課題解決の一助にも、青少年教育にもなると思う。孤独孤立を防止する、地域共生社会実現にもつながると思う。	教育委員会では団体や個人など学びの成果を活かしたい市民を、社会教育施設や学校ボランティア等にマッチングする「(仮称)生涯学習人材バンク」の開設を検討しておりますので、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無

36	42	<p>ボランティアはお年寄りだけのイメージだけど、体験不足になっている現代の子どもたちこそ、担い手の一員として地域の活動にボランティア体験で入ってもらいたい。「子ども支援」という上から目線ではなく、中高大学生が、地域の課題を知り、チームで取り組んで解決していくことこそ、今後の社会・世界でも活躍する人材を育てることになる。青少年教育と市民活動と協働して、本物のキャリア教育をお願いします。</p> <p>(参考: 島根県益田市 https://masudanohito.jp/)</p>	<p>まつど市民活動サポートセンターにおいて、中学生及び高校生を中心に、夏休み期間に市民活動又はボランティア活動を体験する機会を提供する講座を引き続き実施してまいります。</p> <p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
37	42	<p>協働事業について、市民活動団体が提案するだけではなく、より切実な課題を解決するためには、行政側から公募するものがあるといいのではないかと。なんでもかんでも地域(町会自治会等)に押し付けたり、15地区を同時に実施しようとするような事業は、いろんなところで無理が生じている。NPOや、若い任意団体などもあります。小さな行政になっていくこれからは、そうした人たちに、もっとお金をちゃんとつけたり、様々な役割を担ってもらい必要があります。</p>	<p>協働事業提案制度では行政側よりテーマを定めて募集する、行政指定部門を設定しておりますが、近年募集テーマ数が減少しておりますので、関係各課と連携を図り充実を図ってまいります。</p> <p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

38	42	<p>活躍している NPO も結構あると思いますが、市内の事業を見ていると、あまり市内では重用されていない印象。生涯学習分野と市民活動団体に、講師や講義内容、提供できる体験活動などのカタログを作ってほしい。学校や紹介自治会、企業などが講師などを探すときに、市街から人を呼ばずに地域の人に活躍してもらうのがいいと思う。体験も、市内で色々できるといい。商工会議所とも連携して、お仕事体験などもしてほしい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
39	44・46	<p>数値の設定の考え方について。最初にどのような状態に市を持っていきたいのかの理念やビジョンが重要であり、その上で具体的な目標値を設定するものだと思うが、目標値からそれが全く読み取れない。協働に対する明確なビジョンは反映されていると言えるのか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。理念やビジョン、目標値につきましては、松戸市協働のまちづくり協議会や庁内ワーキングチームでの議論を基に、基本理念と基本目標として設定しております。</p>	無
40	44・46	<p>「行動目標」及び「成果目標」について 個々の目標数値の設定根拠について。全体的に目標値(絶対値)が低すぎる。現状から逆算し目標年度に容易に達成できそうな設定を‘目標値’と呼んでいるだけに見えてしまう。理想の追求よりも単に現実にあわせて大きく乖離しないような数字を当てはめただけに見える。設定の根拠を示すべきではないか。</p>	<p>各目標値については現状値の経年推移を勘案する等により設定しておりますので、ご意見を基に、その旨を追加して修正いたしました。本計画につきましては今後の動向を踏まえて8年間の計画期間中、4年を目途に目標値も含めて見直しの必要性を検討いたします。</p>	有

41	44・46	「行動目標」及び「成果目標」について 協働の本丸ともいえる「地域の課題解決」のための活動がどれほど実践されたのか検証できる指標に全くなっていない。これは大きな問題ではないか。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。 行動目標と成果目標については、松戸市協働のまちづくり協議会からの意見を踏まえて設定しております。	無
42	44・46	「行動目標」及び「成果目標」について 本計画を推進する市が市民に協働の範を示す意味として、市職員の参加人数や参加率を何らかの指標に加えてはどうか。例えばボランティア参加など、仕事を離れた場でも本当に市に寄与する形で協働を推進する市民(職員)を増やすことが重要ではないか。	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。 行動目標と成果目標については、松戸市協働のまちづくり協議会からの意見を踏まえて設定しております。	無
43	51～53	庁内ワーキングチーム構成員の中に多文化共生の視点(P51～53 庁内ワーキングチーム構成員の中に多文化共生の視点(総務省において、地方公共団体が「多文化共生に係る指針・計画」の策定、見直しを行い、地域の実情を踏まえて、より一層の多文化共生施策を推進するよう依頼があったことに鑑み、追加されることが望ましいと考える。(令和2年9月10日総行国第100号総務省自治行政局国際室通知))が入っていない理由はなぜか。また、加えるべきではなかったか。	庁内ワーキングチームについては、特定非営利活動法人、市民活動団体、ボランティア団体・地域コミュニティ・大学・社会貢献事業を行う民間企業等と協働で行う事業を実施している課より選任いたしました。 貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。	無